

■ グループ紹介

ガデリウス(株)エネルギー事業部

1. はじめに

当社は、1907年クヌート・ガデリウスによって設立され、当初はスウェーデン製鋼材および諸機材の輸入を主業務としていましたが、日本の重工業興隆期とともに業績は飛躍的な発展を遂げ、1927年技術提携によりユングストローム空気予熱機の国内製造を開始し、さらに、タービン、バルブ製造プラント、トンネル掘削機などの導入を積極的に行い、日本産業界の技術振興に寄与してきました。戦後いち早く貿易業務を再開し、また、広く欧米各国との技術提携による国内生産を行い、生産の拡大と合理化を目指し神戸に新工場を建設しました。1967年社名をガデリウス商会よりガデリウス株式会社に改称し、昨年創立75周年を迎えるに至りました。

現在、省エネルギー・環境保全・紙パルプ・ロボット・その他産業機器・陸船用全般にわたる製品を取扱い、研究開発、製品開発や技術サービス業務も拡充し、エンジニアリング・カンパニーとしての機能の充実を図るとともに、100社におよぶ外国提携企業との間に緊密な情報交換、技術交流を行っております。

2. エネルギー事業部

当社の9事業部の中で、エネルギー事業部は、電力、鉄鋼、石油精製、石油化学、紙パルプなど基幹産業をはじめ、日本の幅広い産業分野における省エネルギーや創エネルギーなど熱利用技術を主体とした製品・システムを取扱うエンジニアリンググループで、技術面では計画、設計、製作、据付、サービス、研究開発などの機能を備えております。

現在の取扱製品としては、空気予熱機、ガスヒータ、レキュペレータ、流動層熱交換器、煙道遮断装置、ボイラ・クリーニング装置、マルチコイル・ドライヤ、金属製保温材、温度・水面計測装置、有価金属セパレータそして陸船用タービンなど広範な熱エネルギー利用分野にわたっております。また今後ともエネルギー効率、省エネルギー、代替エネルギーを含むエネルギー開発、省資源そして自然エネルギー等の分野で、新

製品・システムの開発や導入を積極的に推進すべく、短中長期プログラムによる技術開発を進めています。

3. 最近の技術開発について

空気予熱機の代名詞といわれるユングストローム熱交換器は、従来のエャプレヒータとしての用途に加え、アフターバーナーの代替としての脱硫装置用ガス対ガス熱交換を行うガスヒータの開発をはじめとし、リーケージ低減のためのセンサードライブシステム、スカベンジングシステム、フローティングシール等々省エネルギー、高効率化を目的とした新機構の開発を推進し、ユングストロームでは世界最高水準の技術開発がなされ、これらは欧州へ技術輸出を行うまでに至っています。また高濃度のダストを含むガス、例えばソーダ回収ボイラなどの閉塞性ガス用として、回転形セラミックボール熱交換器が開発され、更に、セラミックボールと流動層の特長を活用して、じん芥焼却炉などの腐蝕性が強く、かつダストのあるガス用の熱交換器や、これまで無駄に廃棄されてきた低温域の排熱回収と有効利用のための製品・システムの開発が進められています。

4. おわりに

紙面の都合で割愛せざるを得ませんが、上述以外にも、優秀な伝熱素子であるヒートパイプ、高性能伝熱面、高耐蝕伝熱面等々の基礎研究やパイロットプラントによるフィールドテストも各地で実施しており、ユーザーのニーズと期待に応えての新製品・新技術を送り出すべく、今後とも尚一層の努力を続けていく所存であります。

以上

所在地：〒651-01 神戸市中央区浪花町27

(文責：岡本栄治)